

## 第2回 学校評議員会記録

日 時：平成 28 年 10 月 25 日(火) 16：15～

会 場：小会議室

参加者：評議員 4名

本校教職員 校長・事務長・第一教頭・第二教頭・広報情報部（記録）

生徒代表 生徒会本部から3名 各学年代表3名

### 1 校長挨拶

今年の目標が「Yoshida Pride」を可視化する。Yoshida Pride の詳細については、生徒会誌「あかふじ」に掲載予定なのだが、これを一つでも多く可視化できるようにしていきたい。

### 2 生徒との懇談

～生徒自己紹介ならびに学校評議員紹介～

#### 【学校の様子】

生徒会①：ウエイトリフティング部に所属しているが、今までは生徒会活動には関わってこなかった。生徒会長となった今、吉田高校の生徒会行事に、生徒一人ひとりが、主体的に深く関わっていけるようにしたい。

生徒会②：昨年度から生徒会本部役員を経験してきて、全校生徒を動かしていくことのたいへんさを知った。みんなに、生徒会活動の中身が伝わるようにしていきたい。本部役員としての活動を通じて、メンタル面が強くなったと感じた。

生徒会③：昨年度から本部役員をしてきた経験を活かして、会長が作り上げたい吉高の生徒会のために、全力をあげてサポートしていきたい。

1年生：中学校の時と違い、生徒会が中心となって、学校が動いていると感じた。

2年生：小学校・中学校と児童会長・生徒会長としてやってきたが、先生方の言うとおりに動いていただけだった。高校で感じるのは、生徒主体で動いているということだった。

3年生：本部役員が頑張っているだけでなく、各部の部長やクラスの理事なども交えての、評議会がしっかりと機能している。

### 【高校生活について】

3年生：部活を一所懸命頑張ってきたが、学習との両立がたいへんだった。しかし、先生方や仲間に助けてもらい、やってこられた。

2年生：理数科に入ったからいいのではなくて、入ってからも努力を続けていかなければならない。課題の量が、半端なく多い。なにより部活との両立が、本当にたいへんです。

よく「中だるみの2年生」といわれるが、本当にそうなりそうなきがある。でも、そうならないように頑張っている。理数科は、クラス替えがないので、互いに切磋琢磨できる環境にあるといえる。また、保健や体育の授業の時は、普通科と一緒に学習となるが、ある意味ホッとできるひとときである。

今年の理数科の2年生は、部活（特に体育局）に加入している人が多いが、そのことが足を引っ張らないように、文武両道を実現したい。

1年生：吉高は、敷居が高いイメージだったが、実際に入学して感じたのは、一人ひとりがしっかり努力しているということだった。一番強く感じたのが、蒼風祭（学園祭）であった。現在弓道部に所属しているが、文武両道を目指していきたい。しかし、4月からの一ヶ月間は、本当にたいへんだった。

### 【三兎を追う】に関連して

校長：昨年度の学校の目標としていた「三兎を追う」ことは、実現可能だったか？

3年生：私は習い事（三味線）をしているが、この習い事のサークル活動としての公演や慰問演奏を実施し、地域への貢献をしてきたと思っている。今年は、日本武道館での「三味線一斉演奏」で、1,191人のギネス認定を果たし、それなりに頑張ってきた。

2年生：現状では、二兎を追うので精一杯だが、将来の目標があり、それを目指すことこそが、三兎めになっているのではないかと考えている。

生徒会①：私は、正直まだ果たせていないが、必ず出来ると確信している。

生徒会②：私自身としては、なかなかモチベーションが上がらず、実現できないので、それが課題だなと感じている。

評議員①：普段、中学生と接しているが、なかなか生徒と今日のように話す機会がない。  
そこで、高校生のみんなは悩みをどのように解決しているか？

3年生：先生に相談したり、仲間に相談して解決してきた。

生徒会②：今現在、進路について悩んでいる。特に、文系なんだが科目選択で悩んでいる。自分がぶれてしまうので、自分だけでは解決が困難な時もあるので、好きなことをしてリフレッシュするようにしている。

2年生：志望大学で悩んでいる。友人と話したり、担任の「気合いだ！」の言葉に励まされている。

評議員②：若いときに、キャパシティを広げておくことが大切。忙しい中で、いかにしてそれを広げられるのかが大事である。「三兎を追う」ことは、まさに視野を広げることにつながる。

評議員③：自分の体験から言うと「常に謙虚であれ」ということを肝に銘じている。周りの人に気を遣い、人間性を高めていくことが大切です。

評議員④：若いときは、時間の使い方が難しいと感じつつも、それぞれが、それを乗り越えて頑張っているのが素晴らしいと感じた。自らの体験からも、高校生活は、人生に大きな影響を与えた。「吉田高校らしさ」も大切だが、そうではないかもという発想も大切です。

校長：埼玉のとある公立高校をライバル視しているが、その学校の目指すものを、機会があったら、HP等でみてほしい。そこから何か学ぶことが見えてくるかも知れない。学園祭の在り方も参考になるのではないだろうか。

第一教頭：生徒会長の「主体的に」という言葉が印象的で、是非ともその部分を伸ばして行ってほしい。

生徒会①：地域の期待に応えていける「吉田高校」にしていきたい。

～以上～